

第3学年家庭科学学習指導案

1、**題材名** 消費生活における金銭管理「クレジットカード利用について考える」

2、**学校種・学年・領域** 中学校・第3学年・「C消費生活・環境」

3、題材の目標

(1) 家庭科としての目標

三者間契約をはじめとする多様な支払い方法について理解した上で、適切な支払い方法を選択できるようにする。金銭管理には情報収集・整理・選択が必要であること理解する。

(2) 汎用的スキル

- 様々なカードの種類や支払い方法について、自ら課題をもって調べる。(問題解決力)
- メリット・デメリットを知った上で、目的に応じた支払い方法について、自分にとって最適な方法を選べるようになる。(批判的思考力)
- 自己の生活と照らせ、支払い方法によって生じるリスクを予測し適切な判断をする。(メタ認知力)

(3) 態度・価値

- 様々な支払い方法やキャッシュレス化の世の中について、興味・関心を持つ。(好奇心・探求心)
- 自分とは違う考えをもつ人がいることを理解し、考えが違う人と学び合うことのよさを感じることができる。(他者に対する受容・共感・敬意)

4、生徒の実態

生徒たちが成長して社会人となるころには、社会のお金の流れは大きく変化している。新しい社会システムの中で自分が望む生活をするためには、どのような行動が必要かを学び、「生きる力」を身につけなければならない。ICカード等の普及に伴うキャッシュレス化のほか、ビットコインや顔認証での購入が可能になり、購入手続きが簡略化する一方、ネット販売における個人情報流出のリスクやセキュリティ確保の課題もあり、自分で情報を得て積極的に生活を営むことが望まれる。

また、近年、留学や進学、親の転勤等で、海外や国内で単身生活をする未成年者が増えてきている。その際、未成年者がクレジットカードと同様に使用できる海外専用プリペイドカードや学生用のデビットカードが多く活用されている。グローバル化によって、日本でも、未成年者のカード利用が増えることも予想される。本校でもデビットカードで日常の買い物をする生徒がいる。ネット販売において、保護者のクレジットカードを無断で使用したトラブルも増えている。消費生活におけるトラブルの多様化と被害者の低年齢化も鑑みると、主体的に消費生活を行っていくためには、クレジットカードなど三者間契約の仕組みと消費者被害について、中学生段階から学ぶ必要がある。その際、自分に関わるお金も家計の一部であることに注目させる。収支のバランスをはかるためには、情報の収集・整理をした上で、計画的な金銭管理が必要であることが理解できるようにする。

5、題材について

① 教科からみた特性

中学校の技術・家庭科〔家庭分野〕の消費生活領域においては、消費者の権利と責任や販売方法の特徴、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用を学ぶ。しかし、近年、通信販売の多様化や普及、支払いにおけるキャッシュレス化に伴い、クレジットなどの三者間契約について学ぶ必要がでてきた。新学習指導要領でも、クレジットカードを取り扱うことや、購入方法と支払い方法の特徴を知って計画的な金銭管理の必要性を理解するといったように、よく考えて選択・購入するための知識や技能を習得するよう示している。

② 汎用的スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

様々な支払い方法について自分自身で課題をもって調べる。調べたことを基にポイントを整理し、班の人に説明し、メリット・デメリットを検討した上で、家計にとって最適な方法を選ぶ。制服という身近なものではあるが、自分のお小遣いでは買えない金額が大きい物について考えることで、普段意識しないようなリスクやメリットを知り、長期的な視点での家計の観点から最適な支払い方法を選ぶ。

5. 指導計画と資質・能力を育成する主な手立て (全2時間 本時 2/2時間)

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・支払方法の多様化・キャッシュレス化について知った上で、様々なカードの特徴や利用方法について考える。 ・クレジットカードについて学び、三者間契約の仕組みを理解する。 ・様々な支払い方法について、自分なりの問いをもち、調査を行う。(宿題) 	<ul style="list-style-type: none"> ○好奇心・探究心 ○問題解決力 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に直結した例を挙げたり、多様なカードの実物等を見せたりする。 ○解決したい、よりよくしたいという場の設定

第2次 (1時間) 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの支払いにおけるメリットとデメリット知り、自分が生活する時の支払方法を何にしたいか考える。 ・自分とは違った考えの人の意見を聞いた上で、再度、最適な方法を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○批判的思考力 ○メタ認知力 ○他者に対する受容・共感・敬意 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な視点から考える必要のあるテーマの設定 ○身近なテーマの設定 ○他者との学び合いの設定
--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・キャッシュレス化を意識し、自覚的にクレジットカードの利用について考えることができる。
- ・支払い方法に関する知識や情報を収集・整理・共有し、よく考えて計画的に購入や支払いをすることが大切だと理解する。

(2) 本時の展開

	○学習内容 ・予想される生徒の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> ○カードの種類とクレジットの仕組み、利用方法について前回の学習を振り返る。 ○家庭の生活に関する支払い（電気料金、電話料金、食材）にどのような方法があるか知る。 ・電話とセットで払うと安いから、私の家はセットで。 ・うちは、ポイントが付くからクレジット払い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の家の支払い方法などを聞いてくくことにより、生活に関する支払いが身近なこととなり、クレジットの仕組みや利用方法について自覚的に思考できるように促す。 (身近なテーマの設定：メタ認知力)
展開 34分	<p style="text-align: center;">クレジット利用について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提示された問題について、自分ならどれを選ぶか理由も含めて考える。 (問題：制服を新しく購入することになりました。購入・支払い方法などの決定を任せられました。現金やクレジットカード払いなどの支払い方について調べ、メリットとデメリットを考えて決めましょう。予算は2～5万円です。実際の生活者の視点に立って考え、理由や注意点を調べて整理しましょう。) ○支払いは、①クレジット(一括払い)、②クレジット(リボ払い) ③デビットカード④現金のうち、どの支払い方が良いですか。生活者の視点に立って考え、理由や注意点を述べましょう。) ○①～④のメリット・デメリット等を班で共有する。 ・クレジットは借金だけど、一括払いは手数料がかからない。 ・リボ払いは利息が多いけれど、何んでだろう。 ・現金が一番わかりやすい。 ・デビットカードのことは知らなかった。 ○上記の問題で支払いをしたら、①～④他のどれがいいかをもう一度考えて、ワークシートに記入する。(班で相談してから記入してもよい。発表者を班で決めておく) ・家族がネット販売を利用しているからクレジットカードで支払っている。 ・現金を持ち歩かなくてもいいが、リスクがありそう。 ・現金がなくても買える。 ・知らないうちに高額を使ってしまう。金銭感覚がなくなると嫌だ。 ○各グループの代表が、個人の考えとして①～④の情報を整理し、もう一度考えて選んだ支払い方と理由やそのメリット・デメリットをクラスで発表する。 ○自分の勘違いや理解不足に気付く。また、違う観点からみると最適な方法が異なることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇現在、支払方法について自分が理解していることや支払い方法に対する今の考えを、自分の生活に直結する身近な例を基に考えさせる。(身近なテーマの設定：メタ認知力) ◆自分ならどれを選ぶか理由も含めて考えられている。 ◇隣り合う班同士で、ひとつのグループを作り、同じものを調べた2人で、調べた内容を共有し情報を精査する。 (多様な視点から考える必要のあるテーマの設定：批判的思考力) ◇支払い方法ごとに、班の他のメンバーにプレゼンをする。(他者との学び合いの設定：他者に対する受容・共感・敬意) ◇メリット・デメリットの両面から、調べた情報を整理し、記入する。(多様な視点から考える必要のあるテーマの設定：批判的思考力) ◆発表内容をワークシートに整理する。 ◇自分が一番良いと思う支払い方法を、理由も含めて各自で考える。(多様な視点から考える必要のあるテーマの設定：批判的思考力) ◇クラス全体で共有し、異なる意見やその理由を知り、再度自分の考えを見直す。(他者との学び合いの設定：他者に対する受容・共感・敬意)
まとめ 8分	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループの代表と異なる支払方法を選んだ場合、何を選んだのか、理由も含めて発表する。 ・便利なのはわかるがやっぱり、現金がよい。 ・リスクを考えれば、デビットカードがよい。 ○これからの消費生活とお金の管理についてのまとめ(支払い方法における利便性とリスクのバランスを考え、自分に合った支払い方を考える。) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆様々な支払方法について、メリット・デメリットの両面から理解できたか。 ◆家全体の家計について長期的な見通しで考えられたか。 ◆消費者として、社会に関心を持ち、自分で必要な情報を収集・整理し、自分生活に生かすことができるか。

